

# クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより

No.50

2月

2020/ 令和2年



## 今月の トピックス

### 処理場で撮影された映画が公開されます!!



「諏訪湖だより第43号」で紹介しましたが、諏訪湖流域下水道豊田終末処理場（クリーンレイク諏訪）で撮影された映画『Fukushima50』が令和2年3月6日からついに公開になります。

予告映像にも処理場での撮影シーンが出てきますので、本編の公開が楽しみです!

(エンドロールに「クリーンレイク諏訪」の文字も出る予定です。)

皆さんも  
観に行ってね!

最近、撮影場所を巡る「聖地巡礼」も流行っているようですので、ふれあいまつりなどの特別な機会の見学コースに加えていきたいと思えます。(通常立入制限エリアになります。)



# エネルギーの有効利用を研究しています

下水の処理には電気、重油など多くのエネルギーを使用していますが、その一方で下水を処理する過程で発生するエネルギーも自ら利用しています。

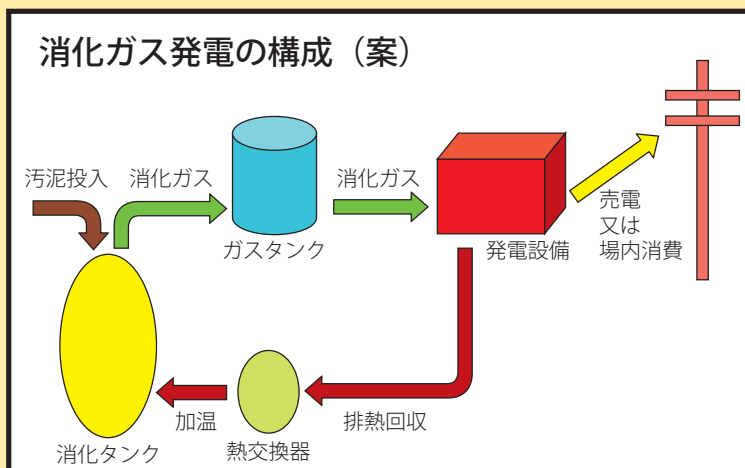
- ①焼却炉の廃熱利用（管理棟の冷暖房・すわっこランドへ熱供給）
- ②汚泥からメタンガスを取り出し利用（焼却炉等の補助燃料）

でも、まだまだ利用できそうなエネルギーが多く存在し、取り出せる可能性を秘めています。例えば、処理水が滝のように流れ、水力発電ができそうな場所や焼却過程で発生する約 60℃ の大量の温水などがあります。

今回は、現在研究が進められている処理水を用いた水力発電を紹介します。



この水力発電は、NPO 法人諏訪圏ものづくり推進機構の SEE（スマート・エンバイロメント・エナジー）研究会小水力プロジェクトが処理水の水路に発電施設を設置し、その効果を検証するためデータを取っています。現在、発電した電気は照明や暖房器具に使用しています。



水力発電の他に、汚泥から取り出したメタンガス（消化ガス）を利用した発電も検討しています。